

令和7年度学校評価のまとめ（中）

文責：教頭 幸地 健次

R 7 年度生徒の評価から

学校へ行くのが楽しいと答えた生徒が3.7ポイントで昨年より若干向上している。
挨拶に関しては3.2ポイントで、本年度も課題である。道徳や特別活動等での啓蒙活動やキャンペーンの展開を考えていきたい。
家庭学習及び基本的な生活習慣が3.3・3.2ポイントとしてb評価である。本校の「開邦スタンダード」達成に向けて、3点固定の生活習慣の定着を保護者とも連携して取り組みを強化していく。
全体として、a評価が多く安定した学校生活が送れている。

R 7 年度職員の評価から

いじめのない学校へ対応が3.7と高い。保護者も3.8と高いいじめへの対応は毎月のアンケート実施や年2回の教育相談と毎日の観察でしっかり対応できている。
PTA活動に参加しているが2.8ポイントと低い傾向にある。PTA評議員への参加は管理職と学年主任のみが参加しているので、低くなったと考えられる。
中高一貫教育についての項目が2.8と低い評価となっている。開邦は、受検倍率も高く県民の大きな期待を背負った学校であることを自覚し、開邦スタンダードの達成に向けて校内研修の充実に務める。
ホームページのによる学校情報発信が2.9となっている。保護者の要望も数件依頼がある。今後改善を検討していく。
職員のピースフルプランの評価が低い状態で評価もc判定が多い。企画書の一元化や校務のICT化等に取り組んでいるが、行事の精選も含めて検討していく。

R 7 年度保護者の評価から（要望等も含む）

「こどもは、学校が楽しいといっている」や「いじめが少ない」「環境整備がされている」等が3.7以上で高評価であった。保護者記述の中でも、同様な回答が多い。
P T A 活動への参加について2.7の評価で低い傾向がある。校区が全県区であることと、学校行事による地域参加が少ないことに起因していると考えている。義務教育らしい参観型の行事が可能なか検討する。（保護者の要望も数件あり）
学校運営に関する評価は、全てa評価となっている。
ホームページ等による学校情報発信への要望が、記述の中で数件ありました。例年同様の要望があり、少しずつ改善を行っている。今度も改善を検討していく。